

日野市社会福祉協議会よりお知らせ

日野市社会福祉協議会 地域支援係をよろしく申し上げます！！

日野市社会福祉協議会は、地域の皆さまと共に地域の福祉を推進する組織として、様々な事業や行事を行っています。12月6日(日)には歳末たすけあいバザーを日野市立中央福祉センターで行います。この収益金は、高齢者や障害者の支援、防災・災害支援の取組など、地域をよくするために役立てられます。ぜひおいでください！

「地域支援係」は、今年の4月にできた新しい係で、4つの「日常生活圏域」を基に、4人の地域担当職員を配置し、1圏域を2人ずつで担当しています。

地域の皆さまによるサロン活動の支援や、地域での介護予防の取り組みなど、小地域での活動支援や相談を行っています。

現在は、地域の皆さまの活動の場に参加させていただき始めています。皆さまの地域で「こんな集まりがあるよ」「こんな困りごとがあって…」などありましたらぜひ、お声かけください。

また、地域支援係だけではなく、日野市社会福祉協議会全体で、「みんなでつくる豊かなまち日野」の実現に向け努めてまいりますので、今後ともよろしく申し上げます。

【問合せ先】 日野市社会福祉協議会 地域支援係 TEL 584-1294

ひの地区 : 小野・高橋
たかはた地区 : 多賀・日高
とよだ地区 : 多賀・高橋
ひらやま地区 : 小野・日高



日高さん 小野さん 多賀さん 高橋さん

NPO 法人 ひの市民活動団体連絡会よりお知らせ

まち活

日野市で一緒に 活動・交流したい人募集！

この「まち活」は、活動や交流の場を探している人と、一緒に活動する仲間を求めている団体とを橋渡しするものです。一緒に私達の住む日野を住みよいまちにしていきましょう！

- 日時：平成28年2月11日(木・建国記念日) 午後1時から4時まで。
- 場所：日野市生活・保健センター3階集会室
- 内容：団体グループの紹介(ポスター展示及び説明)
団体グループの交流、個別相談
参加団体は只今、募集中！
- お問い合わせ先：NPO 法人 ひの市民活動団体連絡会
Tel/FAX:042-581-6144 (Tel 平日 10:00-17:00)
Mail: hino-cagcm@tokyo.email.ne.jp
- 共催：NPO 法人ひの市民活動団体連絡会、日野市社会福祉協議会



発行日/平成27年11月

発行・編集/日野市企画部地域協働課

〒191-0011 日野市日野本町1-6-2

電話/042-581-4112

H27年
通算第18号

地域がつながるフリーペーパー

「地域かわら版」は、中学校区別で発行している地域情報誌です。地域で活動している取組を紹介しています。

この地域かわら版を読み、「こういう活動している人がいるんだ」と知ること、「今度行ってみようかな」と参加すること、「自分も何か活動してみようかな」と行動することのきっかけになれば幸いです。



平成27年7月11日(土)、新町交流センターホールにて、大坂上中地区の地域懇談会を行いました。

この懇談会では、参加者が各班に分かれ、地域の課題を考え、地域住民自らが解決するための「アクションプラン」を考えました。

その「アクションプラン」を絞り込み、形にするための「アクションプラン検討会」を10月より開始いたしました。地域懇談会に参加し、有志として手を挙げてくれた方々と、地域サポーターの有志で行っております。参加者一人一人の「地域をより良くしていきたい！」という強い思いが感じられる、大変活発な意見交換が行われています。大坂上中地区を、ひいては日野市を、地域の皆さんと一緒により良くしていけるような、楽しく有意義なプランを考えていきます。「アクションプラン検討会」で出来上がったプランは、平成27年度第二回 大坂上中地区地域懇談会でお披露目となります。どうぞご期待ください。



▲アクションプラン検討会当日の様子



東光寺東

子どもふれあい祭り



「東光寺東子どもふれあい祭り」は、昔ながらの農風景と水路を望む東光寺東地区センターを拠点に開催されます。東光寺東自治会と子ども会が協力し、八坂神社の例大祭にあわせて開くこの祭りの主役は子どもたちです。今回は、この祭りを主催する東光寺東自治会の栗林会長にインタビューをさせて頂きました。

★ 子どもが主役の祭り

祭りは全3日間の行程で行われます。自治会のある町内を、子どもたちを中心に大太鼓と神輿を引いて回ります。特に祭りの2日目には、八坂神社から東光寺薬師寺まで、リレーのようにして近隣自治会と大太鼓と神輿の引き歩きを行います。

2日目は秋晴れのもと、東光寺東自治会だけで30~40人もの子どもたちが集まり、「わっしょい、わっしょい」と活気溢れる掛け声を伴い、大太鼓を引っ張り町内を練り歩きました。

期間内は日中だけでなく夜間も、東光寺東地区センターでビンゴ大会などの催しが行われます。

ポップコーンやヨーヨー釣りは子どもたち。ビールのブースは大人たちで賑わい、地区センター前は道路まではみ出るほど、多くの人でごった返します。ビンゴ大会は一夜に2回行われ、子ども会の小学生が司会を務めます。番号が読み上げられる度に老若男女問わず、一喜一憂する姿が見受けられました。



夜 ビンゴ大会が始まるのを待つ人々

★ 今年から新たな交流

神輿渡御は毎年恒例の行事ですが、数年途切れていた西ヶ丘自治会との大太鼓交換が今年からまた復活したそうです。多くの自治会が神輿や大太鼓を引き継ぐので、そのタイムスケジュールの管理などがとても大変だと苦笑する栗林会長。毎年こうした交流を継続し、守っていくことは苦労も多いが、地域のためには必要なことだとおっしゃっていました。

★ イベントや祭り事はアイデアが大事

八坂神社が例大祭を行う3日間は、近隣自治会が一斉にお祭りを行います。

自治会ごとにレクリエーションの内容などが異なるため、とても参考になるそうです。東光寺東自治会は毎年輪番で自治会長が変わるため、引き継ぎをする際、次年度の役員に「今年は〇〇をしたが、来年は☆☆のような催しも面白いかも、というアドバイスも出来る」という栗林会長。

毎年同じことをしていたのでは魅力のない行事になってしまうので、代々の会長が良いところを引き継ぎ、ブラッシュアップしていくことで、良いイベントにしていきたいと話して下さいました。



2日目 大太鼓を引いて町内をまわる

★ 祭りは子どもたちにとって「学びの場」

子どもが主役である東光寺東子どもふれあい祭り。子どもに楽しんでもらうために、大太鼓と神輿中継地点で、子どもたちにお菓子を配布したり、夜はビンゴ大会をしたりと様々な工夫をしています。一方で、こんな話もありました。

「会長挨拶中などにふざけている子どもがいれば、その場ですぐに“ちゃんと話は聞こうな”と叱ります。子ども会の会長も同じようにしていますよ。」

たしなめられれば子どもも素直に聞き入れ、静かになるそうです。お祭りは子どもの“楽しみ”であり“学びの場”であるべき。また、そういった“近所の大人が子どもを叱れるような場”は貴重であり、大切だと語って下さいました。



TOPIC!

東光寺小学校の子どもたちが描いた

案内オブジェが飾られます!

日野市では、市制施行50周年を記念した市民行政協働プロジェクト「水辺のある風景 日野50選」にて、後世まで保全し、残していく50か所の水辺を選定しました。現在、地域の学校と連携し、選定された水辺の標識づくりを行っています。

「東光寺東子どもふれあい祭り」が行われる東光寺東地区センターそばの日野用水上堰も50選に選ばれており、東光寺小6年生の子どもたちによる水辺の案内オブジェが立ちます。東光寺地区では、ほかに地図の選定箇所子どもたちが制作した案内オブジェが立つ予定です。

子どもたちの作品をご覧いただきながら、ぜひ身近な水辺を歩いてみてはいかがでしょうか?



↑子どもたちが描いた案内オブジェの一部



↑スケッチをする子どもたち